

学園だより④

～梁瀬幼稚園・梁瀬小学校～

本校は、従来からふるさとに根ざした教育を推進しています。
また、「いのちを大切にす教育」「自分は自分の責任者」を教育の根底に据え、子どもを「する立場」に立たせる教育を展開しています。

さがんな児童会活動

児童会は、子どもたちが、学校を自分たちの力で良くしていくための組織です。

朝会で各委員会が、全校生に呼びかけをしていきます。その際、提案が確実に一人ひとりに届くように大きな声ではっきりと発表しようとする児童が多くなっています。三役ともなるとメモは見ないで全校生を見渡しながら話ができます。がんばっ

ている学級を発表したり、表彰状を作ったりして、次もがんばろうとする気持ちを高めていこうとするのも子どもたちです。

思いやりを育てる縦割り活動

六年生にとっては、一年生歓迎遠足が、一年間みんなのリーダーであるためにまず初めにクリアしなければならぬ大切な行事です。

六年生から一年生までの全学年から集まってできたグループを一つの班として一緒に活動させ、リーダーの六年生を中心にいろいろな課題を解決しながらゴールを目指します。次に楽しい行事は、五月の「鯉のぼ



1年生歓迎遠足・川渡り

り運動会」です。低、高学年組み合わせの種目に取り組みます。これは、児童中心で運営していくのが伝統になっています。他には、集会委員会が運営する「なかよし遊び」や清掃、修学旅行や自然学校の送迎会にもこ

の班で取り組み、学年を越えて仲間作りをし、思いやる心を育てたいと考えます。



鯉のぼり運動会

思いやりと勇気の記念日

今から十三年前の秋、本校の児童が病死しました。「お父さん、お母さんありがとう。こんな私でごめんね。」という重い言葉を残して・・・以来、命の大切さや人を思いやるということ、勇気について考える学習とその発表会を続けています。それが、十一月に行う「思いやりと勇気の記念日」です。「いのちを大切にす教育」を進める上で欠かせないこの取組は、オンラインワンスクール事業に位置づけています。

今年も十一月二十一日～二十三日に予定しているオープンスクール(学校見学会)の最終日に、一年間の学習内容を作文や劇などの形で発表します。

保護者も教師も発表し、地域をあげた集会にして取り組んでいきます。

「やれどいこぼし」の梁瀬幼稚園

本園では、「やさしさいっぱい」を努力目標として、五歳児三十七名は、人との関わりを通して、お互いの思いがわかる仲間づくりを目指しています。

「あいさつをする」「返事をする」「はきものをそろえる」「腰骨を立てる」などの基本的な生活習慣を大切にしています。また、地域の人やお年寄りの方とのふれあいの活動をしています。

最近では、何でも自分の力で取り組もうと挑戦したり、みんなと協力して行動したり、元気に過ごしています。

教育委員会からのお知らせ

現在、ケーブルテレビで市内小中学校を紹介しています。今後の放送を楽しみにしてください。
(今後の放送予定)

- 六月三〇日より
山口小学校・大蔵小学校
- 七月七日より
生野中学校・奥銀谷小学校
- 七月一四日より
生野小学校・東河小学校
- 七月二一日より
梁瀬中学校・和田山中学校
- 七月二八日より
中川小学校・枚田小学校